

室原会だより

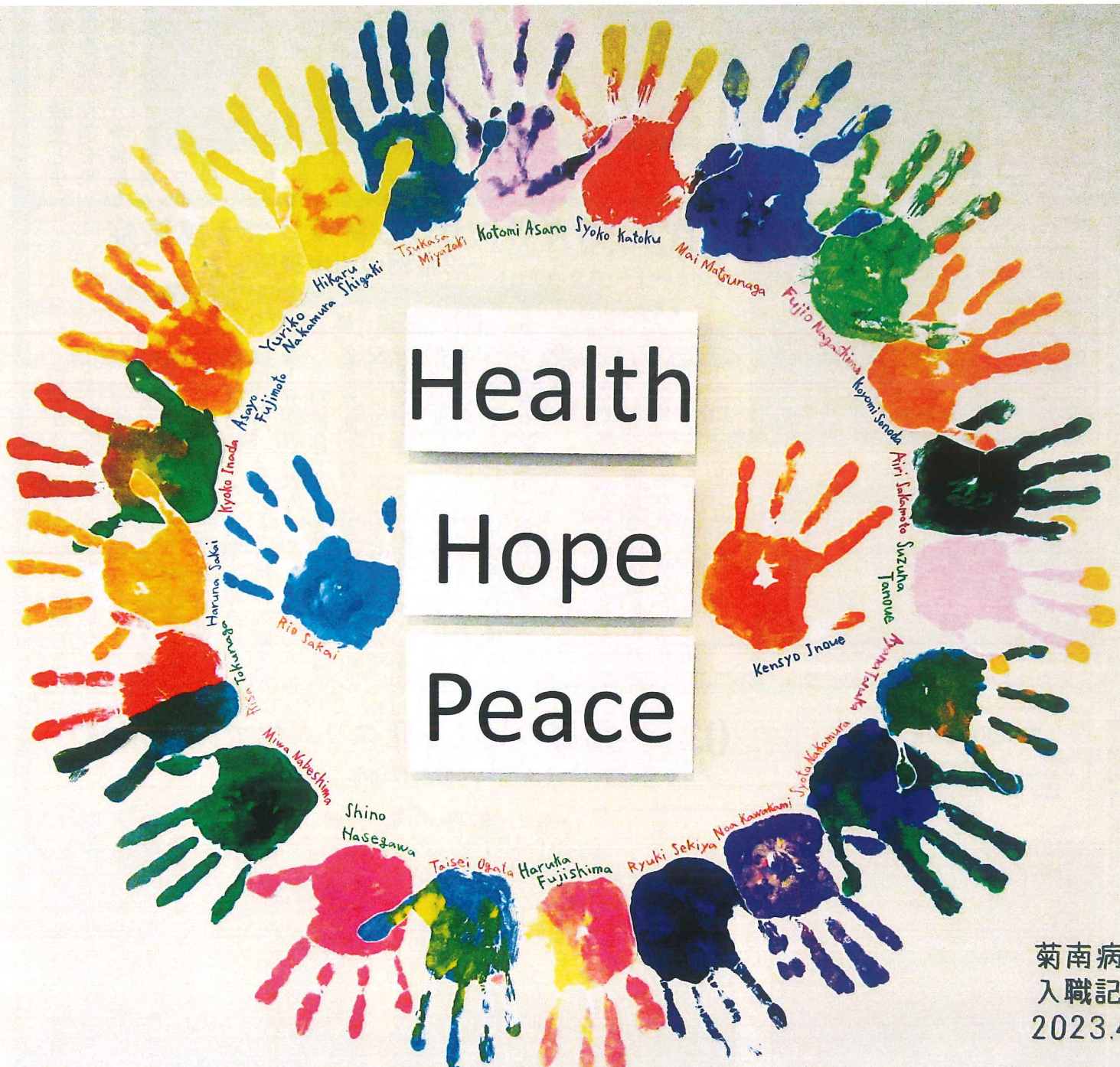
Vol.113

ふれあい

夏号
令和5年8月

(題字 室原亥十二)

菊南病院 院内各部署発表会 レポート / ちょっとひといき - ハーブで健やかライフ / 室原亥十二会長百寿記念 ご長寿 特集「つながり」
病院対抗フットサル大会 / ナイストライ (職場体験学習) / ドクター古庄のサイクリング紀行 / 城野憲二Dr.の「徒然の記」
うりぼう・グループホームきくなんだより ...and more



菊南病院
入職記念
2023.4.1

室原内科・小児科

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目11番9号
Tel 096-364-3080 Fax 096-366-4668

菊南病院

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目1番53号
Tel 096-344-1711 Fax 096-344-1726

水前寺高齢者複合施設

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目3番15号
Tel 096-364-1210 Fax 096-364-1221

グループホームきくなん

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目11番15号
Tel 096-345-2260 Fax 096-345-2261

菊南病院 院内各部署発表会 レポート

各部署の研究成果を発表する院内発表会にて、今回も3題のエントリーがありました。猪本看護部長よりいただいた総評を交えて、一部ご紹介します。

【本日の内容】

- 1) 介護医療院とは
- 2) そのためには
- 3) 業務改善
- 4) スキルアップ
- 5) 喀痰吸引等について
- 6) 介護医療院の現在の課題
- 7) 今後の展望



そのためには...

★早急な業務改善 ★介護士のスキルアップが必要!

- 1) 業務改善
 - 業務のムラをなくす・標準化
 - マニュアル見直し・介護士研修チェック・研修員のムラの改善
- 2) 介護士のスキルアップ
 - リーダー的立場の職員の出遣
 - 現場の教育、業務の役割分担
 - 入職後の研修の統一
 - 専門研修などによる技術向上
 - 介護記録の参入

ケア時間の増加

介護技術を向上

介護士・看護師



協働体制

01 介護医療院移行後の現状報告 ～介護士のスキルアップと業務改善～

介護医療院：井上倅子 / 前村智世 / 平山かおる / 徳永由美子

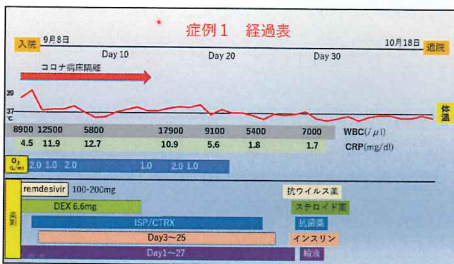
総評 厳しいご指摘もあり皆さんの切実な思いが伝わりました。しかし介護士の方の前向きな思いに看護部としては心強く、うれしく思います。今後も研究に取り組み、介護士の方々のレベルが高くなることを期待します。

介護福祉士の目線から、療養と生活施設という介護医療院の役割を果たすために行うべき介護士と看護師の協働について、また実施した業務改善の紹介。介護士のスキルアップについては、喀痰吸引や栄養注入の講義研修、実地研修を報告。また、「医療行為が多い」「人手不足」「施設・備品の不備」という点から現在の問題点について提起している。今後の展望として、介護福祉士だけの夜勤の実現、多職種連携、院内設備の充実などから、やりがいを持って成長し、アクティビティな介護士の存在になればとしている。

02 百寿者における新型コロナウイルス感染症 ～2症例の治療経験～

第90回日本呼吸器学会九州地方会春季学術講演会

医局：福島一雄 / 室原良治



2 症例まとめ

項目	Normal	症例1	症例2
BMI (kg/m ²)	18.5-24.5	17.3	17.3
WBC (μl)	4000-8500	8900	3200
Lymphocyte (%)	18.7-51.2	8.9	35.5
Lymphocyte No (μl)	745-4360	792	1136
Hb (g/dl)	11.5-15.0	8.9	13.2
Alb (g/dl)	3.8-5.2	3.3	2.8
CRP (mg/dl)	0-0.4	4.5	0.1
D-dimer (μg/ml)	1.0-2	7.8	1.6
Ferritin (ng/ml)	3.6-114	61.2	165
SARS-CoV-2 Antibody S (U/ml)		79,000	60,700
コロナ抗原検出		4/9	3/5
肺炎有・無		有	無
平均経気量 (白)		833 ml	500 ml
重症度分類		中等症 II	軽症

総評 大変興味ある症例発表でした。年齢に関係なく病原体に対し抗体が産生され、重症化また死亡することを回避できる可能性を知ることができました。

総評 新型コロナウイルスに罹患した100歳を超える百寿者について、2症例の治療経験からデータとともに報告。症例1は肺炎/糖尿病を併発し、抗ウイルス薬/ステロイド薬/抗菌薬にて回復し、症例2は抗ウイルス薬と輸液にて回復した。2例ともS抗体の顕著な上昇がみられた。中和抗体であるS抗体の上昇は免疫機能の働きを意味し、今回の症例はコロナ罹患中も良好な免疫が維持されていたと推測される。高齢者は年齢とともに死亡率が上昇するとされているが、今回の症例で百寿者であっても免疫機能の維持が重症化回避の一因と推測できる。

03 業務の見える化スリム化で残業削減

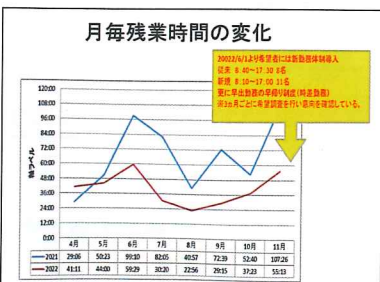
健康管理部：中嶋朋子

取組①(業務の見える化)

(結果) 結果作成工程の見える化(週毎にBOXを使用)

(管理) 手書きのカレンダーをPCカレンダーでこのPCからも日切日の見える化

結果見える化の切がわかることで、発注業務、請求業務も予定を立てやすくなり残業削減につながった。



総評 新しい取り組みに、苦勞されたこと、デメリット、反対意見等があったのではと思いますが、削減につながったことは素晴らしいことです。今後、その後の評価も聞かせてください。

総評 コロナ対策に伴う残業、また通常業務による残業に対して、業務の見える化・スキルの標準化・勤務時間の調整という3つの取組を行った。業務の見える化で期日を明確にし、業務分担できるように。またスキル評価を行い、標準化することで皆がどの担当でも受け持てるように。各人が業務を意識し、滞らない体制を作れた。勤務時間の変更についてはしっかりとスタッフにアンケートを取りながら実施し、ワークライフバランスを意識して効率的に働ける環境づくりを行った。その結果、残業削減、業務の効率化を協力して実行できた。

ちょっとひといき

<ハーブで健やかライフ> Vol.4

メディカルハーブコーディネーター 室原敬子

蝉しぐれの合唱が茹だるような暑さに拍車をかけ、一夏の終わりが近づく頃には心身の疲労を感じる方も多いのではないのでしょうか。

猛暑が続いた後は「夏バテ」や「暑気あたり」とも呼ばれる自律神経の乱れから起こる心身の不調がおこりやすくなります。高温多湿の夏に体が対応できなくなり、全身の倦怠感や食欲不振、めまいや立ちくらみ、睡眠不足で疲労がとれないなどさまざまな症状が出てきます。またウイルスなどの感染に立ち向かう免疫力も低下しやすい頃です。

そんな夏の疲労予防や回復に役立つハーブを3つご紹介しましょう。

「ハイビスカス」「ローズヒップ」「ペパーミント」です。



ハイビスカス



ローズヒップ



ペパーミント

「ハイビスカス」のハーブティは、さわやかな酸味と美しいワインレッドの色をもち、世界中の女性に人気です。

クエン酸などの成分がエネルギー代謝を促し、肉体疲労の回復を早めてくれます。鉄分・カリウムなどのミネラルも摂れるため、汗をかく季節にぴったりのハーブです。一般的にはローゼルとも呼ばれています。

「ローズヒップ」は天然のビタミンCをレモンの20~40倍も含み、「ビタミンCの爆弾」とも呼ばれます。

感染症や炎症、紫外線によってダメージを受けた肌の回復にも役立ちます。

「ペパーミント」はスッキリ爽やかなメントールの香りが夏にぴったりです。眠気を取り、気分をリフレッシュしてくれます。

また消化器の機能を調整するため、食欲不振や消化不良、吐き気などの不快な症状を鎮める働きがあります。

過敏性腸症候群などの心身症にも用いられることがあります。

また寝苦さによる不眠や日中の神経の疲れには、前号のVol.3でご紹介した「パッションフラワー」のハーブティがお勧めです。

鎮静効果が高く、精神的な緊張や不安、それに伴う頭痛、不眠などの症状を改善します。

ハーブティは熱湯を注いで抽出する方法が一般的ですが、夏は水出しのハーブティもお勧めです。常温の水で長時間かけて抽出しますが、お休み前に水出しすると朝にはできあがりです。注意点として、使用する容器は雑菌が入らないように熱湯消毒しておくといいでしょう。

また製氷皿にお好みのハーブを入れてハーブの氷を作ってみるのも一案です。

レモンやライム、ハチミツを入れると、味のアクセントになります。

癒しのハーブを氷の中に閉じ込めて、涼しげな夏を感じてみませんか？

ハーブの力はピンポイントで効果のある医薬品とは異なりますが、心身のバランスの調整や自然治癒力に穏やかに働きかけます。

日々の生活に、上手にハーブを取り入れていきましょう。



2023夏 ふれあいお品書き

母の日



2023/5/14
にぎり寿司・イカと里芋の煮物
すまし汁・抹茶ケーキ

父の日



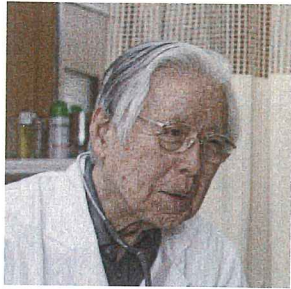
2023/6/18
ちらし寿司・天ぷら・すまし汁
チョコレートアイス

七夕



2023/7/7
七夕素麺・ミートコロッケ
菜飯のおにぎり・苺チーズケーキ

ご長寿 特集 “つながり”



たくさんの小さな写真で
会長の大きな写真を作っ
たものです。

祝 百歳 モザイクアート写真

令和5年5月7日、大正12年生まれの亥十二会長は「百寿」を迎えられました。

この度、当法人の有料老人ホーム（水前寺高齢者複合施設）にご入居されている藤本様と緒方様に先生たつてのご希望により記事を依頼し、快くご寄稿いただきました。

（なんと藤本様は101歳、緒方様は99歳と100歳の亥十二先生を挟んで旧制第五高等学校の先輩・後輩の同窓生です。）

百歳おめでとうございませう。

藤本伸哉様■大正十一年二月三日生／百一歳

ご親族の皆様一同お喜びのことと存じます。総理大臣をはじめ各界各層から沢山の祝意が届いたことと存じます。

先生とは第五高等学校で理科と文科の違いはありませんでしたが同じ時期に学びました。その後は太平洋戦争が始まり結果はわが國の敗戦となり、先生も私も志と違つて熊本に帰りました。そして先生は病院を開かれ、私は県庁職員としてそれらの道を歩きました。

先生は開業医として地域の住民に慕われておられました。やがて大きな菊南病院を建てられ、更に福祉にも意欲をもたれ、老人ホームを創設されました。

昨年、百歳を迎えた私は、先生のおかげで今年この老人ホームに入居ができました。そして今はここで静かに余生を送っております。

私の隣の部屋の住人は、九九歳の五高の後輩ですが、彼の食卓の上には何時も五高のマークと「剛毅木訥」と書いた湯呑み茶碗が置いてあります。

先生は第五高等学校の行事にはいろいろと関與され、母校をこよなく愛しておられました。

百歳の今日もなを、白衣を着て診察室に姿を見せておられると聞いて、その健在ぶりに驚いております。先生の今後の一層のご長寿をお祈りいたします。

長生き・長寿考

緒方秀逸様■大正十三年八月一七日生／九九歳

八月で九九歳の私に、長生き長寿をどう思うとの質問。思うまゝ、二つほど。

(一) 長生き長寿は、今が平和の目印。
大学在学中に入隊、福島県岩沼の陸軍飛行場で終戦になった。

岩沼発の復員列車が広島を通る時、列車から降りて、原爆で壊れた駅構内で飯盒炊飯をした。この広島のおかげでこちらは命拾いと感無量だった。
戦時中、生死論はあつても長寿論議は出ない。昨年来、西のウクライナ、東の台湾と何やらキナクさい。心配である。

(二) 長寿で老衰死なら結構。問題はそうでないとき。人生は四苦八苦、四苦は生老病死。なんと老後に苦が集中している。

いま厚生労働省が普及啓発中の『人生会議』は自分が望む終末期の医療やケアを予め共有しておけということらしい。

私は九〇歳のときに「事前指示書」を書いて終末に備えた。要旨は、単なる延命措置ならお断わり、苦痛緩和は無制限に、植物人間になったら生命維持装置を取り止め、というものだった。

植物人間になる前に安楽死を望むと書きたかったが、自殺ほう助になるから見送った。

最近刑法微改正の記事を見たが、安楽死無罪の論議もして貰いたいものだ。



診察室にて
(左から室原亥十二会長、
藤本伸哉さん、緒方秀逸さん)

病院対抗フットサル大会に参加して



通所リハビリテーション科
小中幸樹



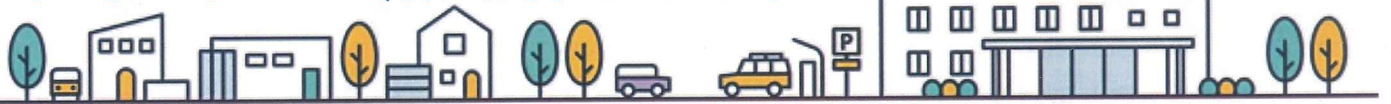
5月14日(日)熊本市北区和泉町にあるリッタースポーツフィールドで病院対抗のフットサル大会が行われました。熊本県内外から合わせて12チームが参加し、1位から12位までを決める今大会。

当日は4時間で7試合というハードなスケジュールでしたが、3月から通常よりも練習量を増やしており非常に良いコンディションで大会に臨めました。また、ゲームは5人制で交代枠が無制限だったため参加者17名と人数の多かった菊南チームは他の病院より圧倒的に有利な立場で、応援の声の大きさも他の病院を圧倒しました。

結果は、12チーム中11位…。まあまあな結果でした。最後の最下位決定戦に勝利した瞬間は、優勝したかのような大歓声に沸きました。参加賞の味噌汁をもらって大会を終えましたが、盛り上がりゲーム中の笑い声だけは負けていなかった菊南病院チーム。機会があればまた参加したいです。



ナイストライ (職場体験学習)



菊南病院では7月の3日間、ナイストライ事業(職場体験学習)にて西合志南中学校の生徒5名を受け入れました。「ナイストライ」は、様々な職業の体験活動を通して仕事のやりがいや楽しさ、職業観など生きる力を育み、仕事の大変さ厳しさを学ぶ機会です。当院では、医師、看護師、放射線、リハ、デイケア、薬剤部のスタッフなどにインタビューをしたり、リハ・健診の体験や病院食の実食など色々なことに挑戦しました。

コロナ禍で当院にとっても数年ぶりの受け入れとなりました。今回の体験で何か一つでも学びがあり、彼らの学生生活がより有意義なものになれば幸いです。学生の皆さんの学校生活が病気に冒されることなくキラキラと輝いたものになりますよう、医療・介護の現場を守っていきたいと思います。

○感想より※一部抜粋

- ・病院を見学してたくさんの職種を知れました。体験を通して私は放射線技師になるためにしっかり勉強に励みたいです。
- ・とっても緊張していたけど、患者さんと看護師さんが明るく楽しく接してくれたおかげでとても話しやすかったです、より一層お医者さんになりたいと思いました。
- ・ストレッチャーや車いすに乗ったり、リハビリを体験したりして楽しかったです。楽しく3日間過ごし、改めて医者になりたいくなりました。
- ・コロナの患者さんに対応するときには何回も着替えないといけないととても大変で苦労していることが分かりました。対応して下さった看護師さんのようなすてきな女性になりたいです。
- ・薬剤部ではたくさんの薬があり思っていたより大変だとわかりました。何をしていても人が癒される様な笑顔で優しく接していたのがとても心に残りました。



ドクター古庄のサイクリング紀行

菊南病院 副院長
古庄 伸行

54.熊本再春医療センターの「留魂碑」

菊南病院から日田街道沿いを菊池方面へ自転車で15分ほどペダルを漕ぐと「熊本再春医療センター」に着きます。戦時中、その東側には黒石原飛行場がありました。昭和13年に「通信省航空機乗員養成飛行場」として造られましたが、昭和18年には陸軍の管轄となり、少年飛行兵の操縦訓練場として使われるようになりました。その飛行場に隣接して、昭和17年11月に傷疾軍人療養所「再春荘」が創設され、昭和18年3月には看護婦養成所が設置されていたのです。

昭和20年5月13日に米軍機がこの飛行場一帯を襲いました。投下された爆弾が療養所の防空壕に命中し、避難していた15才から17才の看護学生4名と施設系の職員1名(32才)、それに再春荘の荘長・本郷孝久博士(47才)が犠牲となりました。

戦後、この療養所は昭和20年12月に国立療養所「再春荘」となり、当初は結核の療養施設として、そしてその後は診療科を増やし、中核病院として周辺地域の医療を支えてきました。

終戦からやがて80年。敷地内に戦時中のものは何も残っていませんが、駐車場の横の木立の中に昭和26年の10月に建てられた「留魂碑」だけが、この地の空襲で命を落とした6名の魂を鎮めながら恒久の平和を祈って静かに佇んでいました。



沢山のお供え物がありました

徒然の記

菊南病院
城野 憲二

徒然の記 《その拾》 大切な思い出。だけど・・・の段。

有り難いことに、私のくだらない徒然の記を、楽しみにしていると言って下さる方が数名おられる。先日そのお一人が、次号はいよいよプロポーズですね、とおっしゃった。で、ふと思ったのだが、私はプロポーズをした事がないのだ。結婚迄の交際期間が10年近くあったせいか、敢えてプロポーズする必要もなかった。

さて、記憶というのは、ある出来事がある人にとってどれだけ重要であるかによって意味付けが変わってくる。その人にとってはとても大切な出来事であっても、相手にとってそれがどの程度意味があるかは別問題である。

彼女とは高1の時にクラスが一緒になった事で知り合ったのだが、高校時代はあまり接点はなかった。学校からの帰りに数回一緒に帰ったことがあった。思う所は確かにあったが、それを口に出したことはなかったし、他愛も無い話をするくらいだったと思う。それで気付いたのだが、今年が結婚40周年、交際50周年である。

それはさて置き、私が大学受験に失敗し、彼女が東京の大学に行った後に真剣な交際が始まった。それから後のことは徒然の記に「文通」や「深夜電話」や「スカイメイト」の話として、すでに書いている。

高校卒業後、彼女が初めて私に会いに熊本に来てくれた時の事である。当時、彼女の実家は父親の仕事の都合で鹿児島にあった。東京の大学に通っていた彼女が、東京から鹿児島に帰る途中

に熊本に立ち寄ってくれたのだ。昼間に彼女と会い、夕方には鹿児島行き電車に乗って実家へ帰る彼女と、熊本駅のホームで別れた。勿論、現在の熊本駅ではなく、昔の古い駅舎である。言うまでもなく新幹線など影も形もない頃の話である。特急でも熊本から鹿児島まで4時間以上かかっていたと思う。

夕方になり熊本駅の古く薄暗いホームに列車が入り停車した。列車の乗降口に彼女が立ち、私はホーム側に立っていた。その時、私が口にした言葉は短いものだったが今でも一言一句ははっきりと憶えている。彼女が何と答えたかも昨日の事のように憶えている。その時、私が何を言ったか、ここでは内緒にしておく。私にとっては一生忘れることのできない青春の一場面である。今考えると、それがプロポーズだったかもしれない。45年以上前のことである。この時の事は私の心の奥に大切に仕舞っておいた。

先日、その時のことを妻に話した。そして私は愕然とした。

妻はその時のことを全く憶えていなかったのだ！



うりぼう



～ 施設の楽しい行事を紹介します。～

水前寺高齢者複合施設
グループホーム 鈴の音
水前寺有料老人ホーム



七夕の日のメニュー



7月7日の七夕に合わせて笹の飾り付けをしました。
皆様の願いが込められ短冊も飾られました。



【 2023年 上半期総集編 】

入居者様に喜んで頂けるように一緒におやつ作りや
プランターで野菜栽培等を行いました。



わらび餅

バナナケーキ

スイートポテト

ミントティー

チョコケーキ

リンゴケーキ

＊ グループホーム きくなん だより ＊

鯉のぼり見学



たくさんの鯉のぼりが泳いでました！

紫陽花見学と紫陽花ゼリー



紫陽花鑑賞と同時に
紫陽花をイメージしたゼリーも作り
ました。

おやつ作り



プリンを作りました！

母の日のプレゼント



野菜作り開始！



ミニトマト、オクラ、
キュウリ、ゴーヤを
植えました。すくす
く成長し毎日収穫
してます！

◆外来担当医当番表◆

●急患の方以外全て予約制です

2023年8月～

菊南病院

診察時間	診察日	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00 受付(8:30～11:30)		室原	赤星	室原	梅田	赤星	室原
		古庄	加古	福島(第3以外) 城野(第3)	加古	加古	城野(第4以外) 福島(第4)
		南	長島	久重	南	福島	南(第2・4)
午後 13:00～17:00 受付(12:30～16:30)		一	赤星	室原誉伶(第2)	室原	赤星	
		長島	城野	室原	一	古庄	休診
		南		久重	福島	長島 室原誉伶(第2)	

○禁煙外来:金曜日 ○発熱外来:当日の担当医

○休診日:日曜・祝日・年末年始等 ※但し、急患の場合はお電話でご相談ください。

★都合により受付終了時間が早まる場合がございます。ご了承くださいませ★

◆外来担当医当番表◆

令和5年4月現在

室原内科・小児科

	月	火	水	木	金	土
午前	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二	休診	室原亥十二	室原亥十二
	梅田Dr	梅田Dr	高血圧外来 (梅田Dr)		梅田Dr	糖尿病外来 (長島Dr)
午後	室原亥十二	室原亥十二	室原亥十二	休診	室原亥十二	室原亥十二
	梅田Dr	梅田Dr	喘息外来 (木村Dr)		腹部工コ一検査 (第4)	腹部工コ一検査 (第2)
					心臓外来 (室原良治Dr)	心臓外来 (室原良治Dr)

★動脈硬化検査:随時

●診察日・時間:月～土曜日(木曜日を除く) 午前8:30～午後6:00

●休診日・時間:木曜日・日曜日・祝祭日・年末年始等

巻頭は「入職記念アート」。たくさん絵具に悩み相談しながら、手のひらに筆を走らせる感触に笑いながら、楽しく個性的な手形の花が咲いていく作業風景を想像していただけたら幸いです。

「院内各部署発表会」も28回目、多職種の実情を知り相互理解を深めるいい機会へと成長しました。

「ちよつとひといき」普通に生活していてもバテしてしまう暑い暑い夏、3種のハーブと、夏にピッタリの楽しみ方を紹介。水出しハーブティにハーブの水…文字だけでも涼しげで爽やかです。水分補給が重要なこの夏、ぜひ楽しんでみましょう。

「長寿特集」では、亥十二会長の同窓生のお二人にお願いし、それぞれの歩みや思いを書き起こしていただいた。お二人の文字を追っていると、戦争と平和、その人生の道程:100年がいかに永いか思い至る。単純なお祝い感情だけでなく、国や時代とともに歩みを進めて今ここに至るお三方に、尊敬の念を感じ入ります。

ようやく大会が開かれるような世の中に戻ってきて、フットサル大会も大盛況だったようです。楽しく参戦した様子が伝わってきて元気なれました。

「サイクリング紀行」今回は再春医療センターの『留魂碑』。「爆弾が投下され、空襲で命を落とす」という今の私たちには現実味のない行為で尊いものが失われること、虚しさや切なさ、祈るような気持ち。また80年、もう80年。火をもつて制する現実を決して受け入れてはならないと感じます。

城野先生の「徒然の記」も記念すべき第10回。セピア色の熊本駅構内、ホームと電車と今まさに別れんとする男女。言葉は聞かれないが、神妙な男性と彼女のほほえみ、まるでドラマのワンシーン…からの秀逸なオチ(笑)ぜひラストまでノンストップで読んでください。

今年からナイスストライや実習など、コロナの様子を見ながら学生の受け入れを少しずつ再開しています。未来を担う子らに、現場の空気を伝えることで少しでも医療・介護への明るい兆しになればと願います。学生の頃、体験学習や実習、学校やバイト先で色々なものを見て聞いて学びました。大人として、受け取っていた立場から渡していく立場へ変わる中で、もったった時よりちよつとでもいいものをあげられるといいな、とぼんやり思う今日この頃です。

編集後記

編集委員長 高栢 良子